



2011年6月27日 No.107

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 中岡基明

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL03-3434-1236 FAX03-3433-0334

URL: http://www.nugw.jp

E-mail: nugw@nugw.jp

# 東北地方の復興と「脱原発社会」の實現に全力をあげよう!

3月11日に発生した東日本大震災から100日過ぎました。いまだ7000名を超える方々の行方が分かっていません。そして多くの方々が避難所で不自由な生活を送っています。

1995年に発生した阪神淡路大震災から16年、再び巨大地震が起こり、津波をとらなつて大きな被害をもたらしました。自然の破壊力をまざまざと見せつけられる思いがします。そして利益最優先の資本主義の営みがその破壊力を一層巨大させ私たちに襲いかかっています。

東京電力福島第一原子力発電所の原子炉は地震と津波によって破壊され大爆発を起してしまいました。放射能は20キロ圏内とその周辺を人も動物も住めない場所にしてしまいました。海にも汚染は拡がり、漁業で生計を立てることも出来ません。制御できない原子

炉は放射能を放出し続けています。

「地震列島」と言われ、狭い国土に54基もの原子力発電所が乱立しています。静岡浜岡原発は確実に大地震が発生すると言われている東海地震活断層の真上に5基建設され、稼働して

また、日本の電力会社は地域毎に、独占経営が許され、小さな事故についてはひた隠しにするという、原子力に対するモラルの欠如も厳しく批判されてきました。原発大事故はいっ起りしても不思議ではない状況が続いていたのです。いま日本全土は見えない

放射能と向き合う異常な社会となつてしまいました。

原子炉を何とか制御するために多くの労働者が放射能を浴びながら、作業を続けています。その労働者は東京電力社員と協力会社と呼ばれる多くの下請け・孫請け会社の労働者です。また急遽かり集められた日雇いの労働者です。原発労働者の被曝を少しでも少なくし、健康被害を最小限に止めるために、政府・東京電力は全力で取り組まなければなりません。しかし、過酷な労働にもかかわらず、劣悪な環境を放置する東京電力は許されません。

拡散し続ける放射能汚染は福島・東北はもとより、全国の労働現場で労働者の健康と放射能問題が大きな課題になり対策が求められています。例えば、既に東地域にも下水汚泥から高度の放射線が検出され、処理できないままとなつてい

ます。静岡のお茶の葉などからも検出され、処分できないまま野積みとなつて

ます。運送に関わる労働者は放射能汚染地域にも行かなくてはなりません。様々な職種・職場で日々、放射能とどう向き合うのか問われ続けています。

東日本大震災は大きく日本社会を変えてしまいました。東北地方の復興に日本の労働者は全力で支援し続けることが求められています。長期間に亘る息の長い支援が求められています。

何よりも原発事故を一刻も早く収束されること、全国の全ての原発を直ちに停止・廃炉にし、原子力から自然で、再生可能なエネルギーとするための政策転換を政府に求めていかなければなりません。いま各地で脱原発の闘いが大きなうねりとなつています。大江健三郎さんや内橋克人さん、鎌田慧さんなどが呼びかけて「さよなら原発1000万人アクション」が提起され、1000万人署名と9月19日(月)・敬老の日に東京・明治公園に於いて5万人集

会が準備されています。これらに積極的に参加し、原発のない社会を労働者民衆の手で実現しましょう。

## お知らせ

### 全国協

#### 「第2回活動家養成合宿」

時：2011年7月2日(土) 13:00から

3日(日) 12:00まで

所：東京海員会館 (中央区晴海3-7-1)

(大江戸線勝どき駅A3出口徒歩9分)

#### 第21回 定期全国大会

時：2011年9月10日(土) 13:00から

11日(日) 12:00まで

所：宮城県仙台市 (予定)

# 原発とめろ！ 原発いらない！

## 全国から9・19 明治公園 5万人集会へ 「原発にさようなら1000万署名」に取り組もう



6・11 中国電力本社への抗議デモ(広島市)



6・11 東京電力本社抗議へ(東京芝公園)

全世界で、6・11脱原発  
100万人アクションかちとる  
日本全国140ヶ所で約10万人が集まった!!

- 7月6日(水) 18:30から  
「放射能対策を考える労働者の集い」  
三単産よびかけ  
全港湾東京支部(2F会議室)港区海岸3-6-46
- 7月17日(日) 13:00から  
「廃炉は浜岡から反原発全国集会」  
静岡市常盤公園、主催:浜ネット
- 9月19日(月) 13:00から  
「原発にさようなら集会」  
東京・明治公園
- 「原発にさようなら1000万署名」運動を  
2011年6月から2012年3月まで  
震災1周年の日に衆参両院議長・首相あて提出予定

4月15日から東北三県で開催した「労働・雇用相談ホットライン」に5泊6日に参加した。15日の宮城県庁における記者会見後、宮城合同労組の事務所に宿泊して、電話や面談での相談に対応した。

被災地を案内していただくなど、星野委員長にはたいへんなお世話を掛けながら、滞在中に14件の相談があった。また、団体交渉の

### 震災労働相談から

### 地区労交流へ

4月18日開所以来2ヶ月、遠野物語の里から東京、大阪、京都の組合員のべ200名を超えるボランティアを大槌、釜石、陸前高田へ送り出しました。瓦礫の片付けが中心の作業に慣れない組合員が毎日元気で働くために、三度の食事をおいしく食べられるようにとスタッフは気を使って調理しています。多くのボランティアから「おいしい食事と暖



### 遠野 ボランティアアセンダー 延べ2000名の後方支援

共生ユニオンいわて

4月18日開所以来2ヶ月、遠野物語の里から東京、大阪、京都の組合員のべ200名を超えるボランティアを大槌、釜石、陸前高田へ送り出しました。瓦礫の片付けが中心の作業に慣れない組合員が毎日元気で働くために、三度の食事をおいしく食べられるようにとスタッフは気を使って調理しています。多くのボランティアから「おいしい食事と暖

かな布団に寝られる」と感謝されることを力にスタッフ一同がんばっています。大阪教育合同の元看護師は血圧測定をし、共生ユニオンいわて委員長岩見は避難所の眼科の検診をおこないました。ともに、心に深い傷をおった悩み事を聞いてあげる時間のほうが長かったようです。

(書記長 山下正彦)

被災地の復興は雇用問題の抜きにはありえないことをあらためて思った。これを機会に、小名浜と遠野の地区労が定期的な交流を行うことが決まった。(由倉労組・嶋田泰治)



# 『なんでやらない派遣法抜本改正』

日時・2011年7月13日(水) 12:00~14:00

会場・参議院議員会館 地下B107会議室

主催・労働者派遣法の抜本改正をめざす共同行動

震災で多くの雇用が失われているが、なかでも派遣・非正規労働者が真っ先に仕事を奪われている。リーマンショック後の大量派遣切りが派遣労働者の反撃を呼び、社会的に派遣法が問題にされ、法改正の運動が積み上げられ、2010年4月派遣法改正法案を当時3与党で国会に提出した。しかし、未だ法改正が実現せず店晒し状態だ。

労働者派遣法が放置されたまま、派遣市場は2010年秋から再び拡大し、東日本大震災をきっかけに第二次派遣切りが始まってし

また、これ以上待つことは出来ない。共同行動は、派遣法抜本改正の今国会での成立を求め院内集会を開催することとした。政争に明け暮れている国会状況を突破し、我々の正当な要求実現を闘い取っていきこう。

## 7・13院内集会に結集を!

震った。日雇い派遣労働者の賃金は下がり続け引越しのきつい肉体労働でさえ交通費込みで最低賃金程度になっている。被災地での雇用創出が急がれるが、派遣・非正規の劣悪な雇用が野放図にまかり通らうとしている。



6・11 東京芝公園に6000人



6・11 大阪中之島公園に4500人

## 九州電力へ抗議闘争

ユニオン北九州

5月1日、福岡・天神で「ともに生きよう!連帯メーデー」に取り組み、11団体70名の労働者が、原発の即時撤去を要求して、渡辺通りの九電本社前までデモをおこないました。九電本社前で連日おこなわれている座り込みの仲間たちとエー

ルを交わしました。1週間後の5月8日、同じく天神で、若い人たちを中心に1200人が結集した「脱原発!サウンドデモin福岡」が行われ、さらに6月4~5日には、北九州・福岡で広瀬隆氏の講演会が開かれ、マスコミでは報道



6・11 福岡市天神

されない原発事故の真実が語られました。5・8に続く行動として、6月11日、再度サウンドデモが天

神で行われ、1054名が結集しました。今回も、全国から、老若男女さまざまな人たちが参加しました。中には、東北や関東地方から避難してきた人たちもいて、工夫の凝らされたプラカードや横断幕を掲げて「原発はいらない」と訴えました。デモの終わりには、宮崎から参加したメンバーたちの、歌や踊りが披露されました。

次回の取り組みとして、6月28日の、九電株主総会への抗議行動が予定されています。

## 4・26 フジビ抗議集会に100人

東京労組フジビグループ分会

西日暮里にある印刷会社、富士美術印刷とフジ製版では、4月26日に構内で今春闘2回目の集会が行われた。近年の業界斜陽化に加え、経営者一族内の不和の影響から子会社のフジ製版では合理化が進み、4月13日の団体交渉で経営側が希望退職の募集を強行しようとしたのだ。このための抗議集

会で、平日の昼休みにも関わらず、東京労組や東部の地域から、100名もの仲間が支援に駆けつけ、希望退職を撤回させた。しかし経営は人員削減方針を変えようとしていない。

富士美術とフジ製版の合同分会であるフジビグループ分会は、子会社に対する責任を認めようとしな

士美術に対して、現場での闘いと都労委の不当労働行為救済で闘っている。

(小金井)



# 第34回 沖縄平和行進を貫徹！ 全港湾、全日建とともに140人で

5月12日から15日の4日間3単産（全港湾・全日建・全国協）で行なわれた。全国協は12名が参加した。今年、東日本大震災の被災地復旧・復興支援の取り組みのため、戦跡視察と学習会を中心に行なわれた。12日は港湾センターで3単産結団式が行なわれた。13日は団体交渉を拒否している沖縄セメント工業へ抗議行動と、南風原陸軍病院壕などの見学・平和学習会。14日は辺野古・嘉手納・普天間の基地めぐりと労働学習会。15日平和行進は、宜野湾市役所を出発し宜野湾海浜劇場「5・15平和とくらしを守る県民集会」へ参加した。

戦後66年復帰から39年、米軍施設の75%が沖縄に集中し米軍機の爆音と事故・行事件の交渉も3回を重ね、2度と事件を起こさないようにと、組合案を基にした会社側の具体的な安全対策の策定という段階に到っている。一方、独自交渉が進む中で課題も多い。首都圏支部では、労働者代表の非民主的選出、就業規則で規定されていない部分の運営事項でフロントを締め付けている問題、昇給・夏一時金の問題と、取り組むべき課題が山積している。支部員の今後の奮闘が期待される。



しオスプレー（垂直離着陸機）を配備し更に米軍基地の強化を図ろうとしている。沖縄と連帯し基地強化反対・平和を押し進めよう！（神奈川・千葉幸次郎）

## 初めて肌で感じる事ができた…

東京南部（東京港健康保険組合） 桂 利之

今回、生まれて初めて沖縄の地に立つことが出来た。これも昨年4月に組合員になった縁である。この沖縄平和行進に参加して驚いたのはその規模の大きさである。写真撮影のため歩道橋に上ったが、行進の最後尾が見えないくらい長い長蛇の列であった。これには本当に驚いた。

平和行進には地元の人も多数参加され、ゼッケンを身に着けた小さな子供と小さな手を引いたお父さんが、私達と共に行進していました。また車の中からや、孫を抱いたお祖母ちゃんが庭先から、こちらに手を振っている姿を目にしました。途中こういった姿を見るところっかり涙腺が緩みそうになるのを堪えていました。

沖縄の人が何を訴え、何を求めているのか？これはテレビのニュースだけでは絶対に理解し得ない。今回初めて肌で感じる事によって理解出来た気がします。これまで当事者意識が薄かったことを今は痛感しています。

県下労組一覧表を置くことについてのやり取りをおこなった。局側の前向きに検討するとの回答を引き出すことができた。更に、福島第一原発の事故を受け、厚労省が出した「放射線労働の基準」緩和の通達について意味不明であることと仮に緩和するのであれば時代に逆行するものであるから撤回するよう求めた。これに対し局側担当者からも「意味不明であるから撤回するよう求めた。これに対し局側担当者からも「意味不明であるから撤回するよう求めた。」との回答があった。

最後に、外国語指導助手の「偽装請負」問題に関する県下市町村の調査について引き続き交渉を行うことを強く要求してこの日の交渉を終えた。

## 職場に根差し闘う

### 東横イン労組首都圏支部

東部労組東横イン首都圏支部として、昨年11月に首都圏各店舗の組合員が再結



集し、会社側と支部独自の団交を重ねてきた。後菜園店・蒲田東口店などは、「人員増」・未払い残業代の請求などを求め2回の団交を重ね、労基法37条違反で大田労基署に是正申告を行っている。また、個人加盟の元支配人と退職されたフロント組合員の未払い残業請求が、それぞれ3月と5月に会社側と協定書結び、和解・解決した。さらには、愛知での性的暴

5・13

## 神奈川労働局交渉

5月13日、神奈川春闘一曰行動実行委員会と神奈川労働局との交渉が行われた。これは、今回の大震災の影響で一日行動が中止となり改めて実現されたものである。

席上、まず実行委員会があらかじめ提出していた要請書に対する労働局からの回答があった。その後質疑に移り、特に労災の早期認定と賃金未払いなどの資料提供、そして労働局窓口